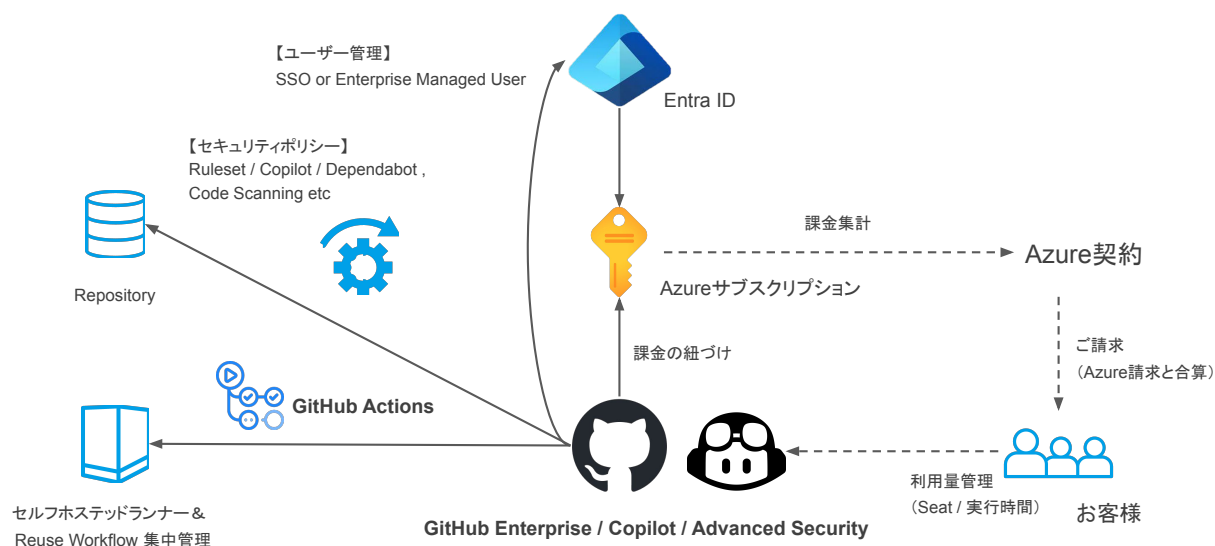


GitHub Enterprise Cloud 導入支援

開発アセットなどの機密情報が格納される GitHubのプラットフォームを
エンタープライズで求められるセキュリティ基準で導入支援します



本サービスの活用シーン

【こんな課題ありませんか？】

- ・有識者がおらず導入計画立案の段階でつまづいている
- ・自社のセキュリティポリシーを満たせるか心配
- ・組織がサイロ化しており、ガバナンスが制御できない
- ・社内での利用が定着しない

【サービス導入後の効果】

- ・SAML/SSO連携、IP許可リスト、Organization/リポジトリの権限ポリシー策定など、**企業のセキュリティ要件を満たすセキュアな環境を構築**
- ・統制の取れた運用と運用設計やトレーニングを通じた**自律的な運用体制を実現**

導入スケジュール と 価格

実施期間: **2ヶ月～4ヶ月**

- 1ヶ月目**
キックオフ・設計/計画策定
- 2~3ヶ月目**
GitHub Enterprise Cloud環境実装
- 4ヶ月目**
オンボーディング

※お客様との役割分担やスコープによってスケジュールは変更される場合がございます。

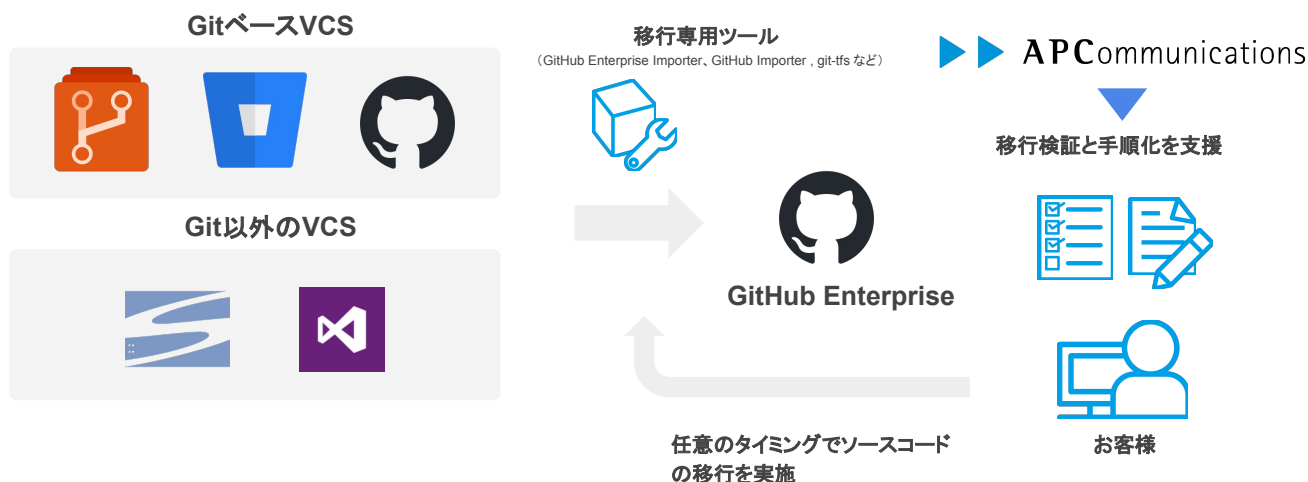
価格:

**価格については、
こちらから資料請求をお願いします**

※入力欄に「GitHub資料請求」とお書き添えてください

マイグレーション to GitHub Enterprise

他のホスティング サービスでソースコードを管理しているお客様に、
GitHub Enterpriseへのマイグレーションを支援します



本サービスの活用シーン

【こんな課題ありませんか？】

- ・GitLab, Bitbucket, SVN など、他のVCSを利用しているが、GitHub への移行手順やノウハウがない
- ・移行対象のリポジトリが膨大で、メタデータの移行（履歴、プルリクエスト、Issueなど）や、優先順位付けの計画策定が困難

【サービス導入後の効果】

- ・業務影響を最小限に抑えた最適な移行計画（一括移行、段階的移行など）を策定します
- ・リポジトリ、コード履歴、Issue、プルリクエストなどの重要な資産の移行検証と手順化を行います
- ・お客様で任意のタイミングで移行が実施できるようにオンボーディングを実施します

導入スケジュール と 価格

実施期間: 1ヶ月～3ヶ月

- **1ヶ月目**
キックオフ・計画策定・既存リポジトリ調査
- **2ヶ月目**
サンプルリポジトリ数件の移行検証を実施
- **3ヶ月目**
手順化とレポーティング・オンボーディング

※お客様との役割分担やスコープによってスケジュールは変更される場合がございます。

価格:

価格については、
こちらから資料請求をお願いします

※入力欄に「GitHub資料請求」とお書き添えてください

GitHub トレーニング

GitHubサービスパートナーとして、
GitHub活用におけるトレーニングを組織向けに提供します

当社トレーニングの特徴

カスタマイズ対応が可能

お客様のスキルセットや開発言語など個社別の環境に合わせたカスタマイズ(個別費用追加発生)を実施可能です。自社の環境に適したトレーニングを受講することでより理解が深まります。

ハンズオンがメイン

座学中心ではなく、ハンズオンをメインに据えることで実践的な学習が可能です。

研修動画も提供

研修動画はトレーニング終了後にお客様へ提供します。
社内利用にご活用ください。

Basic

GitHub for Developer

分散バージョン管理システムを用いて互いに連携する方法、プルリクエストを介したコミュニケーションや、適切な安全対策を講じながらチームが迅速なイノベーションを推進する方法を学びます。

Git Flow / GitHub Flow / Commit / Pull Request / Merge / Review / Issue など

Basic

GitHub Administration

GitHub Enterprise Cloudの管理者を対象とした、GitHubプラットフォームで利用可能な様々なオプションとカスタマイズについて、深く学びます。

Enterpriseアカウント/ Organization / ブランチ保護/ Team / API認証 など

intermediate

GitHub Advanced Security

GitHub Advanced Securityの機能を理解し、アプリケーションのセキュリティ確保において「開発者ファースト」のアプローチを実現する方法を学びます。

Dependabot / Code Scanning / Secret Scanning / など

Basic

GitHub Copilot Fundamentals

GitHub Copilot の基礎的な学習をおこない、ハンズオンを通してGitHub Copilotを活用できる方法を学びます。

GitHub Copilot ライセンスの違い/ 責任あるAI / Copilot機能紹介/ など

intermediate

GitHub Copilot Intermediate

優れたコーディングテクニック、ベストプラクティス、迅速なエンジニアリング、そしてセキュアコーディングなど GitHub Copilotの機能を最大限に活用できる方法を学びます。

ユニットテスト/ リファクタリング/ デバッグなどAI-DLCを意識した活用ユースケースやハンズオンなど

Advanced

GitHub Copilot Advanced

効果的な迅速なエンジニアリングスキルの習得を支援し、ベストプラクティスを共有し、生産性を新たなレベルに引き上げるためのヒントやコツを学びます。

Copilot Autofix / Copilotコードレビュー/ Pull Request Copilot / Copilot CLI MCP 連携 など

※費用: 要お見積り

【お問い合わせ先】 株式会社エーピーコミュニケーションズ ACS事業部
container-evaluate@ap-com.co.jp

AI駆動開発支援

GitHub Copilotを使ったAI駆動開発の
実践・関連ツールの導入とノウハウの横展開をサポートします

AIエージェント活用に立ちはだかる組織的課題

AIコーディングツールは、ただライセンスを組織に配布すれば活用効果が現れるものではありません。組織全体で効果的に活用するためには、GitHubソリューション全体活用や、標準化、KPIの設定や可視化など様々な準備が必要となります。

セキュリティと コンプライアンス

情報漏洩リスク、脆弱なコードの生成、知的財産・ライセンス違反などAIの生成コードや学習されない管理が必要

AI格差と人材育成

生産性の二極化、若手育成の課題などの格差解決やAIへの的確な指示・評価の組織的な知見整理が必要

コード品質と保守性

ハルシネーション、コードレビュー負荷、保守性の低下リスクなどのチェック機構を設ける必要

コストと費用対効果 (ROI)

KPI測定の方法論の検討、適切なライセンス付与など、継続的な効果測定のための仕組みづくり

提供サービス

GitHub Copilot 生産性可視化支援

GitHub Copilotを活用し、これまでの開発がどれだけ効率化されたかを定量的に算出するための仕組み化作りを支援します。
GitHub API や Copilot Dashboard、Findy Team+ などのソリューションを活用して可視化のためのダッシュボード作成なども行います。

現状把握



KPI設定

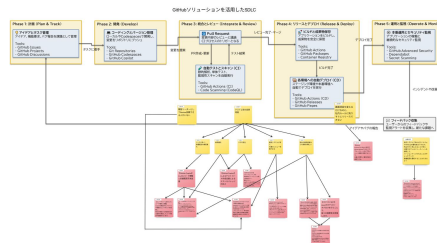


可視化



AI駆動開発プロセスアセスメント

現状の開発プロセスが Git Flow / GitHub Flowに沿った運用となっているか、どの工程で開発課題を感じているかを把握した上で、GitHub Copilotの効果的な活用ポイントを整理します。



Vibe Coding / SDD開発支援

AI駆動開発におけるシステム構築の一般的なアプローチを模倣に、お客様のシステム開発の一部を抜粋し、AI Agentを中心とした開発で評価・検証を支援します。



要件定義

/explain活用
要件定義書の作成
リファクタリング選定
テスト計画策定

Agentでの 開発

プロンプトエンジニア
リング反復による
コード実装

品質保証

テストコード作成
コードレビュー
CI/CDパイプライン作成
自動静的解析

※費用: 要見積り

【お問い合わせ先】 株式会社エーピーコミュニケーションズ ACS事業部
container-evaluate@ap-com.co.jp

GitHub Advanced Security 導入・実運用最適化支援

CRA・SCS評価制度・サプライチェーン攻撃リスクに対応
SBOM管理とAI Agent活用で実現する、開発速度を落とさない DevSecOps

本サービスの活用シーン

サプライチェーン攻撃への懸念とSBOM管理遅れへの対応

GitHub Advanced Security機能を活用し、サードパーティ製ライブラリの依存関係や脆弱性リスク可視化SBOM生成・社内管理を実施

欧州CRAやSCS評価制度など外部規制・基準へ準拠

CRA（欧州サイバーレジリエンス法）、SCS評価制度、NIST SSDFなどの基準に対し、自社開発環境を適合させる

ガバナンス統制と現場活用の柔軟性の両立

Organization一括制御（ガードレール）、各プロジェクト固有チューニング、セキュリティ専門家なしでの現場対応を実現

提供サービス

Organization Goal

真のシフトレフトとセキュア開発文化の定着

「使われないプラットフォーム化」を防ぎ、組織全体で自然にセキュリティが向上する仕組みを各担当視点で支援

管理者目線



ガードレール統制



利用者目線



教育・AI自律修正支援

フェーズ	支援概要	期間	費用・目安
GitHub Advanced Security 導入アセスメント	お客様の既存開発運用を確認し、システム重要度（High/Middle/Low）に応じたセキュリティ要件整理、CRA/SCS/NIST SSDF等に適合するガードレール設計、Dependabot等を活用したSBOM管理・トリアージ方針を確立します。	1ヶ月	<u>価格については、 こちらから資料請求を お願いします</u> ※入力欄に「GitHub資料請求」とお書き添えください
GitHub Advanced Security ガードレール設計実装支援	多層的（Organization / Repository）なポリシー策定、高度な個別調整（カスタムクエリ（CodeQL）、トリアージチューニング等）を Dependabot、Code Scanning、Secret Scanningそれぞれで設計・実装します	2ヶ月	
開発者利活用推進	GitHub Advanced Securityに精通していない開発者が、明日からシフトレフトな開発を推進できるように、①ハンズオンオンボーディング、②運用ガイドライン策定支援、③ Agentic Workflowなどを活用したトリアージや修正にかかる専門性をAIエージェントでPoC実施	1ヶ月	

【お問い合わせ先】 株式会社エーピーコミュニケーションズ ACS事業部
container-evaluate@ap-com.co.jp